



コロナ禍でも楽しく元気なスキーを！

教育本部長 浅石敦幸

今年の夏は、県内でも40度に迫る温度を記録するなどかつて経験したことのない猛暑の夏となりました。ひょっとしたら会員皆様の中にもあまりの暑さに体調を崩されたがいらっしゃったかも知れません。また、57年ぶりに開催された東京オリンピックは無観客開催を余儀なくされ、一昨年から続いているコロナウイルスは、収束どころかウイルスが変異して更に感染力の強いインド株に変異し異常な早さで感染拡大が広がっております。

これから迎えるスキーシーズンに影響がなければいいと願うのは私だけではないと思っております。一日も早く元の生活に戻る日が来ることを願わずにはられません。

さて、昨シーズンもコロナ禍の中で様々な行事が開催されましたが、皆様のご協力で変則的な運営方法でも一通りすべての行事がこなされた事は喜ばしいことであつたかなと思っております。

また、2年ぶりに開催された全日本スキー技術選・デモンストレーター選考会において鈴木洋律さんがナショナルデモンストレーター認定を受けられたことは県連としても非常に喜ばしい出来事でありました。今後の活躍に大いに期待したいところでございます。

一方、今までナショナルデモとして活躍してこられた兼子稔さんがデモの活動にひと区切りをつけ現場に戻られた事には、今までのご苦勞と功績に心からの感謝とお礼を申し述べたいと思います。

今シーズンもコロナの影響は昨年同様残っており、今年度の理論研修会は昨年同様eラーニングでの開催となりました。

受講者の皆さんにとっては遠くまで出かけなくても良いとのメリットはありますが、一堂に会し仲間の顔を見る機会がなくなったこと、任期満了で役員やデモの顔ぶれが変わっても皆さんの前で紹介できないことなど残念なこともございます。

ただ昨年取り組んだeラーニングについては、ビデオの滑りを丁寧に解説しており、これは受講者にとっては大変ためになる研修になったかと思われます。

今までの教本・教程又はオフィシャルブックに同梱のDVDになぜ音声解説をつけなかったのか・・・残念と思われたのは私だけではないかと思われますが、岡田利修氏が頑張って解説していた内容は分かりやすく、今年のeラーニングでも期待できると思われます。

ぜひ期待してeラーニングで理論研修を受講していただきたいと思ひます。

毎回お話ししておりますが、我々スキー指導者は自身のスキー技術を高めることは勿論のこと、更に持ち得た技術をスキー初心者・中級者に伝授し、スキーの楽しさを教え生涯スポーツとして継続して楽しめるような環境に導いていくことが我々スキー指導者に課せられた責務であると考えております。

コロナ禍で、出るな・行くなと何かと生活に支障のある昨今…スキーへのモチベーションも下がり気味になるかとは思ひますが、自身のスキー技術の研磨・指導技術の向上を目指して今シーズンも楽しく元気にスキーに取り組まれますようご祈念申し上げます。